

佐野史郎と山本恭司…松江出身の二人が朗読と音楽で織りなす小泉八雲の世界。

小泉八雲 朗読のしらべ



夢とうつつのあいこに現れるものたち
“Visions — What lies between the imaginary and reality”

小泉

〈出演〉

脚本・朗読 佐野史郎

音楽・ギター 山本恭司

監修・講演 小泉 凡

visions

2017 10/1 [日] 開演 17:30 (開場 17:00) 会場: 興雲閣 (松江城二の丸内)

入場料 (全席自由) 前売 3,500円 / 当日 4,000円 ※未就学児入場不可 8月1日(火)チケット発売開始

チケット販売 イープラス <http://eplus.jp> / チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 636482)

主催: 神在月まつえ文化・観光月間実行委員会 共催: 山陰日本アイランド協会 協賛: 八雲会・東横INN・山陰ケーブルビジョン

■お問い合わせ: 松江市観光文化課 TEL0852-55-5517

題字: Nanami Nanasawa
写真: Toshinobu Takashima

小泉八雲 朗読のしらべ

1部 講演

2部 朗読LIVE

プロフィール



佐野史郎 Shiro Sano

松江市出身。

劇団シェイクスピアシアター、唐十郎の劇団状況劇場を経て、1986年「夢みるように眠りたい」(監督・林海象)で映画、主演デビュー。

1992年テレビドラマ「ずっとあなたが好きだった」(TBS)のマザコン男、“冬彦”役が社会現象となる。1999年には映画「カラオケ」を初監督。

幼少期から幻想怪奇の世界に親しみ、松江ゆかりのラフカディオ・ハーン=小泉八雲にも惹かれていた。映像の仕事にたずさわるようになり、ますます小泉八雲作品と関わる機会も増え、八雲の朗読は今やライフワークとなっている。鳥取境

港出身の写真家、植田正治をモチーフとした映像監督作品「つゆのひとしづく」(DVD/2006年/東映アニメーション)も八雲の随筆から引用されている。また、これを機に、写真にも傾倒。2008年には東京と大阪で初の写真展「あなたがいるから、ぼくがいる」を開催した。

BOWWOWの山本恭司とは松江南高校の同級生。音楽を通じて当時から深く親交が続いている。



山本恭司 Kyoji Yamamoto

島根県松江市生まれ。

15歳でギターを始め、18歳でヤマハ・ネム音楽院に入学。その頃より天才ギタリストとの呼び声高く、在学中にBOWWOWのリード・ギタリスト、リード・ヴォーカリストに抜擢される。

デビュー当時はキッスやエアロスミスとのツアーが大きな話題を呼び、豪快で圧倒的なサウンドとギターテクニックにより常に日本のロック・シーンをリードしてきた。その後VOW WOWを結成しロンドンをベースにヨーロッパ、アメリカで約4年間活動、イギリスでチャートインするなど海外での評価も高く、海外有名アーティスト

への影響力も大きい。

また、バンド活動以外にもギター・インストゥルメンタル・アルバムや東日本大震災復興支援チャリティーアルバム「Inori~Rebuilding Lives~」のリリース、ジャズ・フュージョン系ミュージシャンとのセッション、アコースティックの弾き語りやギタリストアルバム「六弦心」他アーティストのプロデュースに至るまでその幅広い音楽性を武器に世界の音楽シーンで活躍している。



小泉 凡 Bon Koizumi

1961年東京生まれ。成城大学大学院で民俗学を専攻。

1987年に松江赴任して以来、八雲の作品を通して松江の魅力を世界に発信している。また、小泉八雲の足跡をたどり、世界中のゆかりの地でハーンのオープン・マインドを顕彰するイベントを開催し、都市間の緩やかな連携を築きつつある。

国内では、八雲を地域文化の資源的活用につなげる松江ゴーストツアーを提案。また「子ども塾～スーパーへるんさん講座」の塾長として子どもたちの五感力を育む教育実践活動に継続的に取り組むなど、松江の観光文化の振興に寄与している。

島根県立大学短期大学部教授、小泉八雲記念館館長、焼津小泉八雲記念館名誉館長。小泉八雲の直系のひ孫にあたる。主著「民俗学者・小泉八雲」(恒文社)、『怪談四代記～八雲のいたずら～』(講談社、2014年7月)ほか。

